

栄小学校 メイプル学級について



メイプル学級キャラクターメイブライオン

◎特別支援教育とは

「障がいのある幼児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な指導および必要な支援を行うものである」と定義されています。

障がいのあるなしにかかわらず、どんな子どもにも学習上や生活上で得意な部分と不得意な部分があります。「メイプル学級」では、子どもを集団としてひとくりにして対応するのではなく、個々の子どもを細かくみて、その対応を考え、子どもの持てる力を高めるように指導や支援を行っています。

◎本校の支援学級について

本校には、知的障がい学級（令和2年度から）と自閉症・情緒障がい学級の計2学級（令和3年度から）が設置されています。令和6年度は、7名の児童が在籍しています。また、支援籍学習という制度を利用し、通常学級に在籍しながら、メイプル学級に通って必要なことを学んでいる児童もいます。

◎教科学習

教科学習では、現段階で何を身につけていかなければならないかを保護者の方と話し合いながら、できるかぎり個々の状況を把握し、課題に取り組んでいます。さらに、児童の情緒の安定を図るため、励ましの指導を心がけています。



一斉指導



グループ別学習



個別指導

◎生活単元学習・自立活動

教科書の内容をそのまま教えるのではなく、様々な教科を合わせた学習や生活に結びついた学習が生活単元学習です。「メイプル学級」では、買い物学習や調理実習など体験的な学習を通して、教科や生活に結びついた学習を行っています。また、将来自立するための生活能力や、コミュニケーションや認知、作業能力を1人1人の困り観に合わせて指導していく学習が自立活動です。



◎交流・共同学習

メイプル学級の児童は、交流学級という自分の学年の通常学級とメイプル学級と2つの学びの場をもっています。交流学級の友達や先生との関わりを通して、コミュニケーション能力を高めたり、社会性を身につけたりしています。全校遠足や縦割り班活動、運動会や音楽会、生活科・社会科見学等の学校行事にも交流学級の友達と一緒に参加しています。多くの友達と関わり合い、お互いを認め、共に成長しています。



子どもたちは、大人の言葉や関わりをよく見えています。1人1人の困り感を正しく理解し、ぜひ温かい目でメイプル学級を見守ってください。

物がよく見えないとき、自分に合った眼鏡を使えば、はっきり見えるようになります。メイプル学級は、安心できる環境で自分に合った方法で学ぶことで、もっている力を引き出すことができる眼鏡のような役割のクラスです。通常学級の子もたちとメイプル学級の子もたちがお互いをより深く理解し合い、つながり合えるような言葉がけをご家庭でも心がけてください。

ご理解、ご協力よろしくお願いします。